愛知県安城市

まちをつかってつくる。ヒト、公共空間、データを活用し、居心地よく滞在できる三河安城へ。

市域面積：
86.05ha

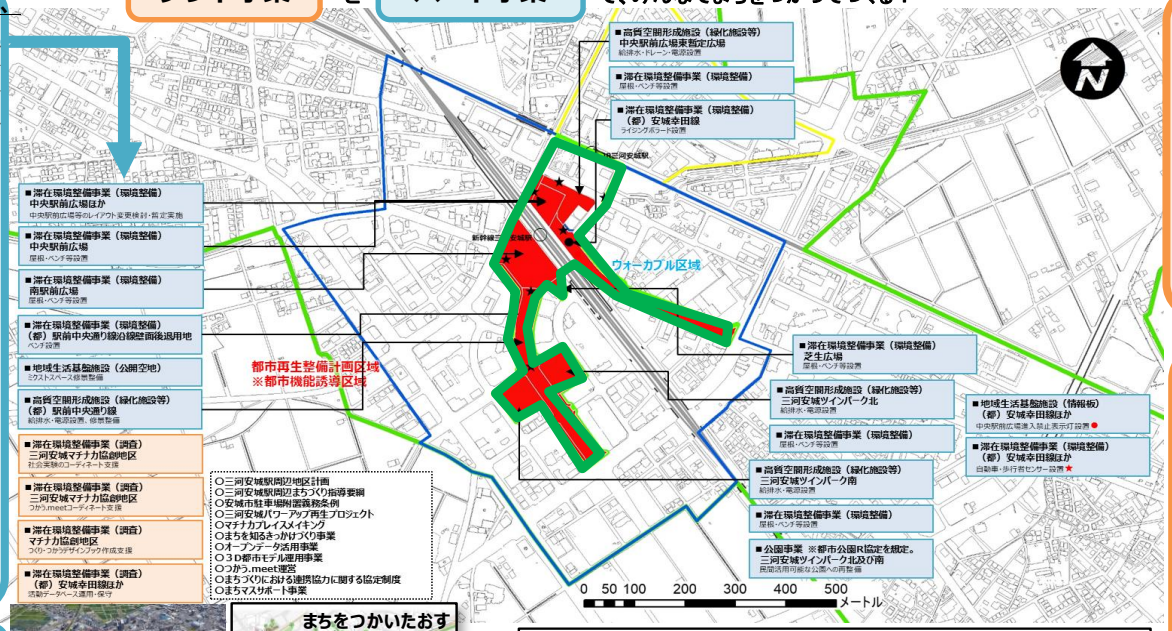
人　　口：
190,143人
（R3.1時点）

【立地適正化計画】
平成31年2月公表（都市機能誘導区域）
平成31年2月公表（居住誘導区域）
【都市再生整備計画（滞在快適性向上区域）】
令和3年3月公表予定

○ **まち全体で稼ごうとする意欲の向上を目指し、複数の民間団体が行った社会実験にて得られたデータ（活動データ/オープンデータ/３D都市モデル）を共有し、データ上で更に必要と判断される機能等を公共空間に追加していくことで官民が連携してゆとりとにぎわいある都市空間を創出する。**

まちをつかってみる **ソフト事業** と つかった上で実装する **ハード事業** で、みんなでまちをつかってつくる！

○オープンスペース（街路空間、公園緑地）の充実
新しい日常に適合しうるパブリックスペース（公共空間）での活動を最大化することを目的に、まちに潜在する社会ニーズを、**民間団体の仮設ある活動（社会実験）により顕在**させ、まち全体の稼ぐ力を創出。



○情報通信基盤設備の設置・データ活用・新技術を用いたサービス提供
官民連携で稼ぐ力の源泉となるデータ（活動データ／オープンデータ／３D都市モデル）を共有し、稼ぐ力の向上を図る。**活動によって得られたデータ等を積み重ね、データ上で必要と判断される機能等を公共空間に追加していくことで、官民が連携してゆとりとにぎわいある都市空間を創出**。

○収集データを公表し住民のまちづくりに対する意欲向上
活動データ、オープンデータ、３D都市モデルデータ等を収集・公表していくことで、**新しいニーズの発掘やより高次な社会課題に気づく機会を創出し**、町全体で稼ごうとする意欲を向上。

○遊休ストックの活用
社会実験等を活用しながら、遊休地のあり方を変化させ、官民連携でゆとりとにぎわいを感じる都市空間を創出。

目標設定

公共空間等を活用した、まちをつかう！プロジェクト数	つかってつくる！リノベーションエリア	まちをつかう！オーディエンス獲得数	社会実験で獲得し、公表したデータ
（従前値：令和2年） 5回/年 （目標値：令和5年度末） 24回/年	（従前値：令和2年） 0% （目標値：令和5年度末） 15%	（従前値：令和2年） 200人/年 （目標値：令和5年度末） 2,400人/年	（従前値：令和2年） 0データ/年 （目標値：令和5年度末） 24データ/年